

白川わくわくランド ニュース

第15号

発行
 ●白川流域住民交流センター
 (白川わくわくランド)
 〒860-0854
 熊本市東子飼町8-55
 TEL-FAX(096)346-5454
 ホームページアドレス
<http://www.wakuwaku-land.com>
 メールアドレス
wakuwaku@wakuwaku-land.com

白川わくわくランド寺子屋

小学生と共に歩いた小島町歴史散策

三月十三日土曜日、昨日の雨がうそのように晴れ上がった春の一日、念願の白川わくわくランド寺子屋が実現しました。これまでの寺子屋は、白川わくわくランド単独で行うことが多かったのですが、今回は小島小学校のお別れ遠足の日に、小島町小学校、小島町づくり委員会や地域の方々の協力を得て実施することが出来ました。

子屋のメンバーは、権現山中腹の千金甲古墳見学にはバスで出発。それぞれの見学場所には、熊本市の職員の方、地域の方など、それぞれの場所を守っておられる方々の話を聞くことができ、経済・文化・災害などと小島の人々のくらしの関わりにふれることが出来ました。そして、一番心に残ったことは、小島町の人々の町を想う心でした。子どもたちには自分たちの郷土小島の町をどうみただしょう。

千金甲古墳



熊本市教育委員会の赤星さんに千金甲古墳(甲号・乙号・丙号)の説明を聞く。

千金甲古墳(甲号)は、乙号と共に大正十年(一九二二)に国の史跡に指定された。甲号は海抜二〇メートル、権現山中腹に位置している。装飾古墳として全国的に有名な内部に石室(石のついで)を有め、その内壁には同心円、縦、対角線を重ねた図形が彫り込まれている。早くから石室の天井部分が開口していたため副葬品は残っていない。築造は八世紀頃と推定されている。現在は保存のために公開していないが県立美術館の装飾古墳室でレプリカを見ることが出来る。

小島公園は白川の中だった!!



お弁当を食べた小島公園。公園のまわりの石垣は、旧白川の右岸の堤防。番所跡・石刻・船着き場への石段・裏比賣さんなど往時を偲ぶ跡がたくさん。旧白川跡は、広い公園となり、その南側をショートカットされた白川が流れる。



明治天行在所
明治5年明治天宮の西国神遊中に修して天宮の行在所となったところ



白壁が残る浜田醤油
「醤油がおりが赤。」の説明に、取りたての醤油のにおいまでかきながら納骨。醤油は、大豆・小麦・塩・水を材料に8ヶ月かけて作るとか。



<本荘太鼓演奏>



<銘板の引き渡し>

五月三十日、架け替え工事中の代継橋でその一部開通に伴う代継橋改築事業地域住民感謝会が行われた。その会で、本荘小学校児童が、本荘太鼓を披露した、あいにくの雨模様だったが、子どもたちの演奏のときは雨も上がった。そして白川の水面に、力いっぱいたたたく太鼓の音が響き渡り、参加者から大きな拍手をもらった。また、代継橋の銘板の寄贈式があり、熊本県から本荘小学校の本田三洋校長の手に渡され、後本荘小学校で保管されることになった。

白川の橋 ⑪ 泰平橋

市道 船場・本山線の白川に架かる。橋長142.63mで左岸上流側の銘板には「昭和五十四年三月竣功」の文字が刻まれている。右岸側は、上流長六橋にかけて、下流白川橋に向かい遊歩道が設置されている。

長六橋に向かっている遊歩道

左岸下流から望む

白川河口有明海の干潟観察

白川わくわくランド 寺子屋①

五月十五日土曜日、白川河口近くの有明海で、小・中学生十四名と有明海の学習をしました。有明海の環境を守る環境船「海輝」に乗ってその働きを聞いたり実際にその働きを見たり、また、干潟の生き物を観察したりしました。

子どもたちは、初めて乗る環境船に歓声をあげ、初めて見るムツゴロウに目を丸くしました。そして、回収されたゴミの種類や量の多さに驚きながらも、川と海がつながっていることを実感しました。時には冷蔵庫などの大型ゴミまで流れてくるということで、人間の身勝手さにおどろいていました。

今日の寺子屋は、すべて国土交通省の熊本港湾・空港整備事務所の方々が講師になっていただき、専門的な立場からわかりやすいお話をいただきました。



環境船「海輝」

閉鎖性水域である有明海や八代海の環境整備のため、浮遊するごみの回収、水質・底質調査、潮流観測等の総合的環境整備事業を行う。全長27.0m、幅9.0m、総トン数99tの双胴船である。



環境船の説明を聞く



回収されたごみ



海路口漁港でのムツゴロウ、住処に出たり入ったり、飛び跳ねたり、恋の季節だという。

立野ダムと白川中流域見学

白川わくわくランド 寺子屋②

四月二四日、建設途中の立野ダム、白川の支流鳥子川に流れる大切畑ダム、中流域の堰や井手等の見学をしました。国土交通省やOBの方、土地改良区の方、地元の方などを講師に白川の治水や利水の学習をしました。

立野ダムでは、建設目的の話や聞いた、地質調査のために掘られた横道の中や、周囲の自然保護のためにとられた工事を見学したりしました。

中流域の水利用については、度重なる水害にも負けず、昔から根気強い努力がはらわれていたことを実感しました。



大井手のホタル観賞会

白川わくわくランド 寺子屋③

五月二二日(土)、大井手のホタル観賞会をしました。今回は、単なる観賞会ではなく、「時期汚染のため生き物が絶えかけた大井手の再生に取り組みましたその過程を学習するなかで、飛び交うようになったホタルを観賞しました。」

長年にわたる大井手再生は、地道で気長な取り組みになっていますが、講師の大井手を守る会の会長橋口英夫氏は、「継続は力なり」ですよ。」と静かに話されました。寺子屋の後半は、託麻原小学校の子供会とも合流し、ホタルの話を聞いたり、クイズに挑戦したり、ホタルの明かりに歓声をあげたり



白川に関わって～西原小～ テナガエビの放流

西原小学校では5年生が、5月14日(金)、総合的な学習の一環で、冬の間プールで育てられたテナガエビを白川に放流した。

西原校区のまちづくり委員会(井井博美会長)の協力で、さお作りから挑戦。手作りのさおでエビを釣り上げた。

「餌のミミズも平気!」と女の子。エビは思ったより少なかったけれど釣ったエビを白川に放流しみんな満足そうだった。



川の豆知識

左岸と右岸

川の下流に向かって左側が「左岸」、右側が「右岸」。白川わくわくランドは右岸にあります。



白川わくわくランド



夏休み 寺子屋案内

★わくわくお天気教室★

夏休みの自由研究に役立てよう！

平成16年7月22日（木）
時 間 13:00～16:30
場 所 熊本地方気象台
対 象 小学4年生以上
人 数 30名
参加費 100円

★夏の星座観察会★

天の川を見てみよう！

平成16年7月23日（金）
時 間 19:00～20:30
場 所 白川わくわくランド
対 象 年齢制限なし
人 数 30名
参加費 100円

★夏の白川

リバースクール★

川に学ぼう。自然にかえろう。

君は川の達人になれるか？

平成16年7月25日（日）
平成16年8月8日（日）
平成16年8月22日（日）
時 間 11:00～16:00
場 所 子飼橋周辺の白川
対 象 小学4年生以上
人 数 40名
参加費 1500円

★白川の源流探検★

自然の中で思いっきり遊ぼう！

平成16年8月5日（木）
時 間 9:00～16:00
場 所 阿蘇谷
対 象 小学4年生以上
人 数 15名
参加費 100円

《お申し込み・お問い合わせ》

白川わくわくランド

〒860-0854
熊本市東子飼町8-55
TEL・FAX
096-346-5454

主催 白川流域住民交流センター
(白川わくわくランド)

<http://www.wakuwaku-land.com>
wakuwaku@wakuwaku-land.com